

クラウドコンピュータと防災<寺子屋のIT近未来予想図>

【クラウドコンピュータとは?】

最近、テレビ・新聞などで、取り上げられている、クラウドコンピュータ。各IT用語辞書の説明では、難しいので、一言でいうとパソコンの中にあるデータ・ソフト・システムをネット上＝クラウド(雲)で管理するということ。(寺子屋流)図解にしてみると、下記のようにになります。



クラウドコンピュータと防災

- ① 東北大地震時における津波被害で、パソコン等の保存してあった、各自治体の住民データ等が、紛失したことは、記憶に新しいが、**データ等がクラウド(雲)＝ネット上で管理**してあるため、パソコンが壊れても、安心である。
- ② 同じく大地震時の民間レベルでは、いち早く、**クラウドで安否情報提供システム**を立ち上げ、家族や親族などの安否情報・救助・救援に大いに役立った。
(Googleの「Person Finder(消息情報)」Twitter)
- ③ 東北大地震によって、企業のサプライチェーン寸断により、復旧・復興が大変遅れたことを教訓に、現在、企業においても、大災害の予防・また大災害時の行動(社員の安否確認・取引先の被害状況の把握・速やかな復旧・復興のための行動など)を決めておく、**BCP(Business Continuity Plan)事業継承計画**が注目されている。
キーワードは、クラウドで実現する「情報の共有」。大企業の大災害の予防では、ズキ(株)の、津波対策・原発事故対策としての、工場移転は、有名な話である。

★ブログで商売繁盛 講座<10,000円～>

(元気はつつクーポンとブログで、売上2倍アップを目指そう!)
初心者、大歓迎!

★BCP(事業継承計画)作成、お手伝いいたします。

★出前パソコン講習、只今、好評受付中!

★1日で分かる、エクセル講座

★世界基準のパソコン資格MOS取得講座

<おすすめ>中学生・高校生・求職者

★パソコン&周辺機器、特価にて販売中!

【クラウドコンピュータで変わる日本】

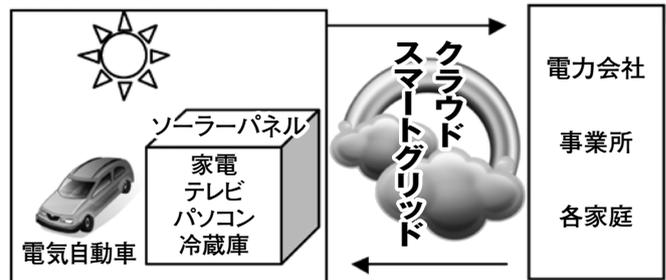
クラウドコンピュータは、防災のみならず、現在日本の抱えている問題を解決できる可能性が多くあります。

1.医療(電子カルテ・遠隔医療)

多重診察などは、クラウドにより、診察履歴・薬履歴など、患者と病院が共有でき、また、病院から遠方の患者でも、通院しなくても、インターネットなどを活用して診察なども出来るようになります。

2.スマートグリッド(次世代送電網)

大震災を契機に、原発依存の日本の電力システムの是非が問われています。そこで、太陽光発電などのエネルギーなどを有効活用するために、スマートグリッドが今後、普及するでしょう。それは、各家庭・事業所などのソーラーパネルからの太陽光発電で得た電力を家庭の家電・車などに活用し、また、余剰電力などをインターネット(クラウド)を活用して、他の家庭・事業所などに活用すること。



3.教育(デジタル教科書・eラーニング)

クラウドを活用したデジタル教科書ならば、常に更新できたり、児童・生徒がインターネットを活用して楽しく、自ら「学ぶ」力がつきます。
【韓国】7月、国家政策として2014年から小中学校で、2015年からは高校でもデジタル教科書を使う「スマート教育推進戦略」を発表
<世界に遅れを取る、日本の教育>

その他、クラウドコンピュータ出現により、我々の生活・ビジネスが激変すると予測されますが、されど、クラウドも単なるツール(道具)でしかありません。そのツールを使い・活用しその恩恵を受ける人間が、「学ぶ」「チャレンジする」ことなくして、その効果はありません。前例の無い社会、ご一緒に学んで行きましょう!

次世代のため、地域に広げよう!パソコン&IT



マイクロソフト認定資格MOS試験会場

遠州パソコン寺子屋

袋井市久能1285-1

TEL.0538-44-2143



遠州パソコン寺子屋

検索

寺子屋長 ■(財)しずおか産業創造機構 経営アドバイザー
■静岡県商工会連合会 エキスパート(専門家)